

公益社団法人日本工学アカデミー九州支部講演会

「国土レジリエンスのための工学と社会の連携－熊本地震を教訓として－」

日時：2017年2月10日（金） 14:00-17:00

会場：九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 1Fホール

趣旨：2015年に開催された国連世界防災会議において採択された「仙台防災枠組」においては、防災・減災を推進するための科学・技術の貢献が位置づけられている。今年の日本工学アカデミー九州支部講演会では、国土レジリエンスのための工学と社会の連携について、インフラストラクチャーのメンテナンス、2016年4月に発生した熊本地震等を題材として議論を行う。

主催：公益社団法人日本工学アカデミー九州支部

共催：九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、九州大学西部地区自然災害資料センター
一、九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター

参加費：無料（講演会のみ）

プログラム

13:30 受付開始

14:00 開会挨拶 （公社）日本工学アカデミー九州支部長 國武豊喜

14:15-15:10 「仙台防災枠組から見た熊本地震への対応」
九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター教授 塚原健一

15:10-16:00 「熊本地震と九州の防災」
国土交通省九州地方整備局企画部企画調整官 木村康博

16:10-17:00 「九州における高速道路の維持管理」
西日本高速道路株式会社九州支社保全サービス事業部長 福永靖雄

17:00 閉会

17:15-18:15 ミキサー（意見交換） 九州大学ビックオレンジ（学生 1,000 円、教職員 2,000 円）

参加申込・問合せ先

参加ご希望の方は、1) 参加者名、2) ご所属、3) ミキサー出欠 をご記入の上、
加知宛（kachi@doc.kyushu-u.ac.jp）に、2017年1月27日（金）までにお申し込み下さい。

九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 加知 範康

kachi@doc.kyushu-u.ac.jp、TEL/FAX 092-802-3407